

# 大阪湾漁場環境速報

2021年 4月 9日発行  
兵庫のり研究所

スケルトネマを主体としてキートセロス等数種の珪藻が、海域毎に発生量に大小ありますが全域で見られました。明石海峡部と陸水の影響が見られた湾奥以外、この海域全域において特に表層の栄養塩（窒素・リンとも）は著しく低い値でした。

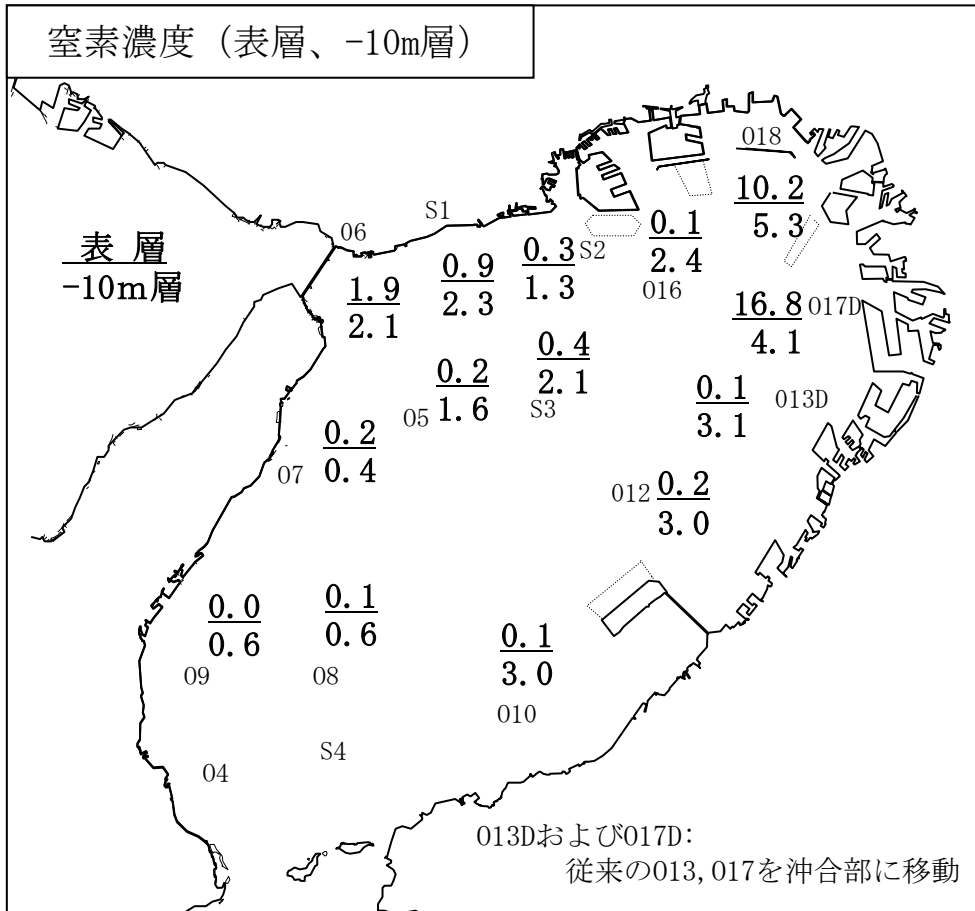
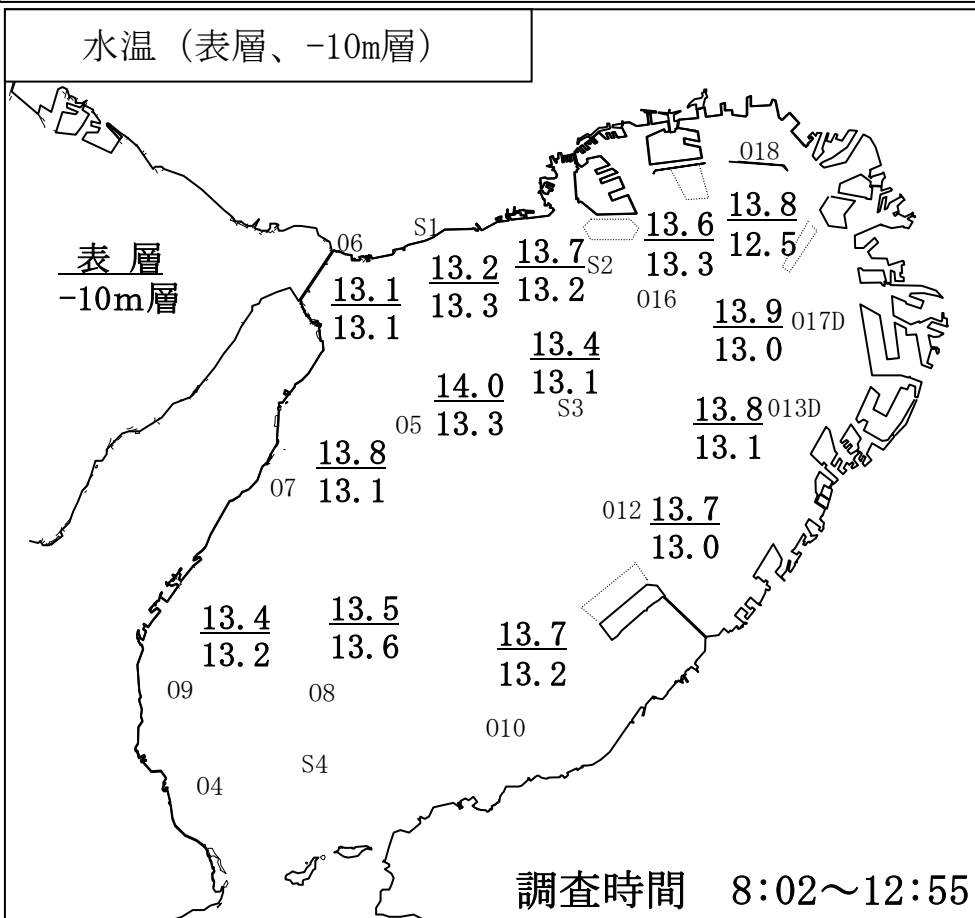
**(水温)** 表層は湾内13~14℃台で平均13.6℃。平年より1.5℃高い。-10m層は平均13.2℃（表層同様、平年より1.4℃高い）。

**(塩分)** 表層平均31.57psu(平年 31.17)。-10m層平均32.32psu(平年 32.16)。

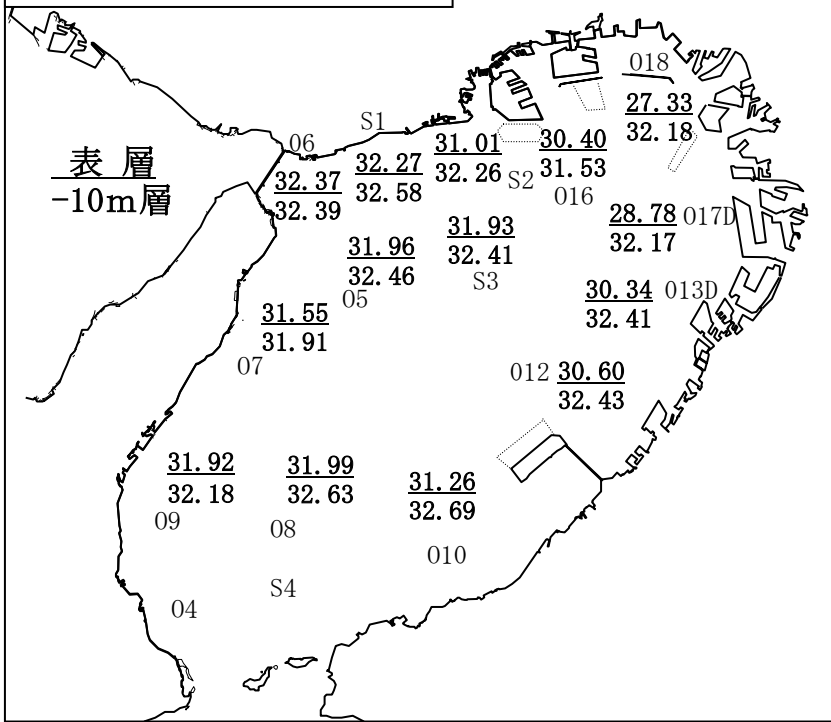
**(栄養塩、他)** 表層の窒素は平均0.4μg-at/L、リンは平均0.07μg-at/L。-10m層(平均)は、窒素1.8μg-at/L、リン0.25μg-at/L。全域で小型珪藻スケルトネマやキートセロス、リゾソレニア等数種が確認され特に和田岬から湾奥、関西空港南にかけては発生量がかかなり多く強い赤潮（海水の着色）として見られた。何れの珪藻も色素は薄く活力は低いと考えられるが、表層の栄養塩は大阪湾全体にこれら珪藻の消費により枯渇した状況にある。

上段 (今回値)	2021年 4月 8日調査
中段 (昨年値)	2020年 4月 6日調査
下段 (平年値)	4月上旬

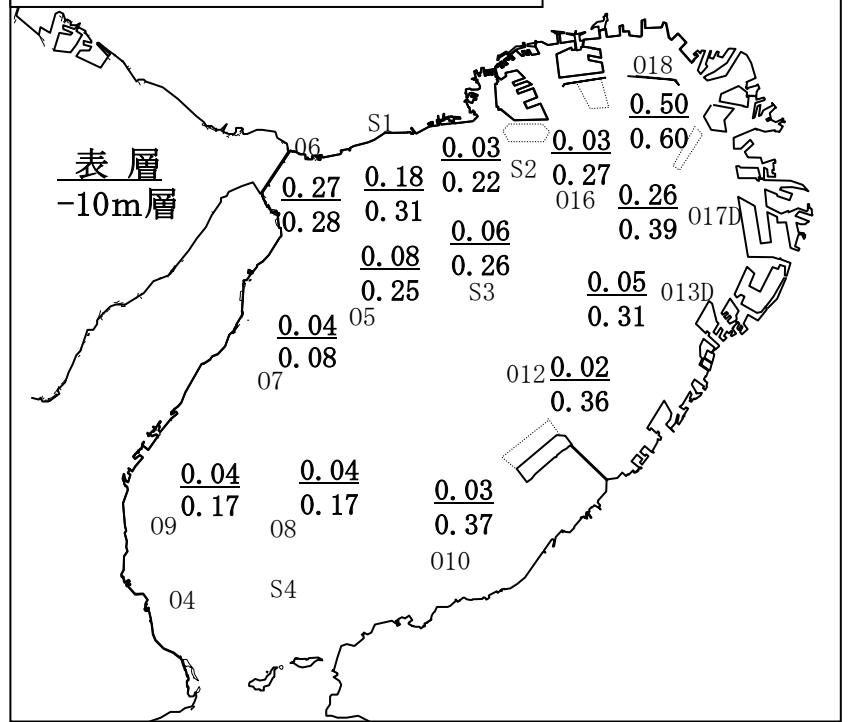
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04	13.7	33.14	3.2	0.36
	12.9	32.71	2.7	0.25
05	14.0	31.96	0.2	0.08
	12.9	32.18	1.3	0.23
06	13.1	32.37	1.9	0.27
	12.8	32.35	2.8	0.36
07	13.8	31.55	0.2	0.04
	12.9	31.85	0.1	0.07
08	13.5	31.99	0.1	0.04
	12.9	31.85	0.2	0.09
09	13.4	31.92	0.0	0.04
	12.4	31.97	0.9	0.13
010	13.7	31.26	0.1	0.03
	12.9	31.58	0.2	0.12
012	13.7	30.60	0.2	0.02
	12.9	30.46	0.2	0.07
013D	13.8	30.34	0.1	0.05
	12.6	30.04	0.2	0.08
016	13.6	30.40	0.1	0.03
	12.7	30.46	0.2	0.07
017D	13.9	28.78	16.8	0.26
	12.9	30.07	3.2	0.13
018	13.8	27.33	10.2	0.50
	12.8	30.07	3.2	0.13
S1	13.2	32.27	0.9	0.18
	12.4	30.84	3.4	0.09
S2	13.7	31.01	0.3	0.03
	12.6	30.72	0.2	0.04
S3	13.4	31.93	0.4	0.06
	12.5	31.03	0.2	0.06
S4	13.3	32.13	0.7	0.15
	12.6	32.40	1.7	0.19



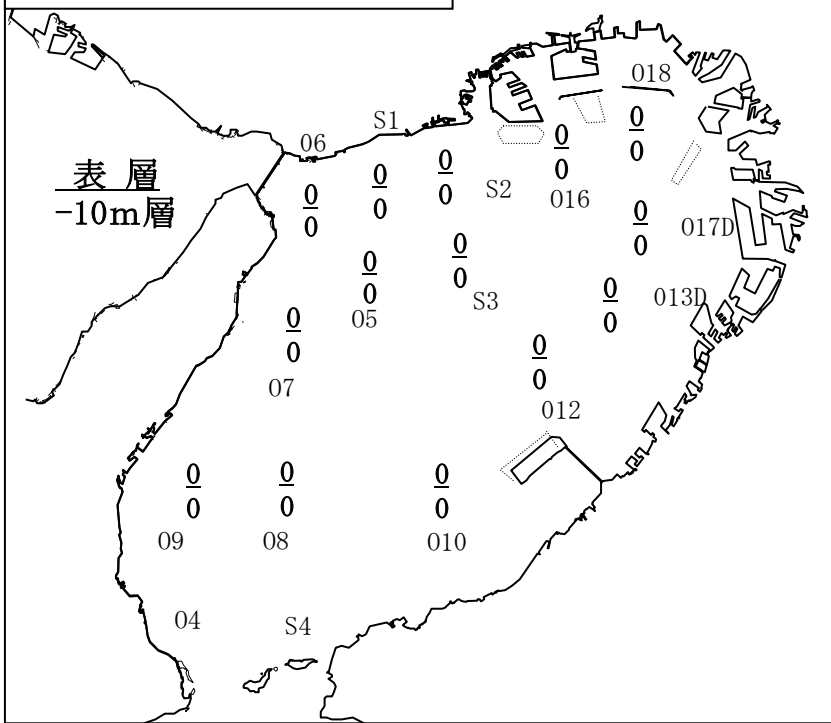
塩分 (表層、-10m層)



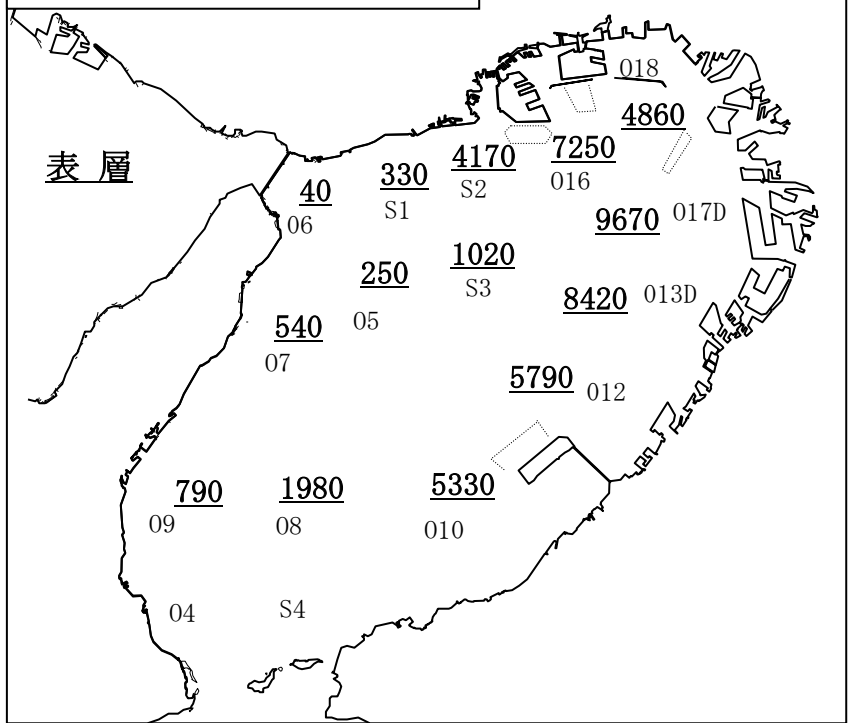
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

